

グループ関連施設

(大学院キャンパス併設)



2005年(平成17年)、理学療法士、作業療法士を養成する福岡県内初の4年制学部として、大川市に開設しました。2007年(平成19年)には、言語聴覚学科を開設したことにより、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を養成する福岡県で唯一の大学となりました。さらに2013年(平成25年)4月、臨床検査技師を養成する医学検査学科を開設し、「福岡保健医療学部」と学部名称を変更。3号館(医学検査学科棟)も新設し、医療福祉分野の第一人者である教授陣、多彩なカリキュラム、最新の設備など、教育環境がますます充実しました。大学の臨床医学研究センターである高木病院、柳川リハビリテーション病院など、近隣に位置するグループ関連施設と連携を取りながら、人間性・社会性・国際性を兼ね備えた、西日本の保健医療を担うことのできる優秀な人材の養成を行っています。



1号館



2号館(左)、3号館(右)

- 開設年月：2005年(平成17年)4月
- 敷地面積：38,261m² ●延床面積：25,122m²
- 定員：理学療法学科 80名
作業療法学科 40名
言語聴覚学科 40名
医学検査学科 80名



情報処理室



小児補聴効果測定室



図書館



学生ラウンジ



形態検査実習室



講堂



運動療法室



生活技術室



大講義室